

杉並消防団 団員育成の取り組み

令和5年9月18日(月・祝)、杉並消防団では午前午後と二部構成で消防団員の知識・技術向上のための訓練を行いました。

【午前の部】高井戸出張所にて主に5年目までの団員を想定した「基礎教育訓練」が行われ、10代から60代までの35名が参加しました。屋内にて消防団の歴史や制度についての座学に続いて活動服での身だしなみと規律訓練。その後3班に分かれて、梯子の保定、放水、ロープ結索訓練を受けました。

メリハリのきいた教育内容に「楽しく訓練ができた」「わかりやすかった」との声が聞かれました。入団してからできることがあるか不安な方でも、このような訓練の機会がありますので安心してください。



【午後の部】「積載車運用訓練」が、立正佼成会普門館東駐車場において実施されました。訓練の目的は、火災現場において、安全、確実、迅速に活動できる消防団員の養成です。積載車の操縦要領では、クランクでの方向変換など、運転の実技を習得しました。ポンプ運用要領では、可搬ポンプの取扱いや可搬ポンプ同士の中継方法について、理論的に学びました。締めくくりとして、可搬ポンプを中継しての一斉放水を行い、訓練の成果を披露しました。

